

1 前提

該 当 す る 地 域	県下全域 中山間地
設定した経営規模	アスパラガス15 a、白ねぎ50 a、水稻200 a
自 家 労 働	2.5人
そ の 他	鳥取型低コストハウスは補助事業活用（1／2補助）

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1 年 目													
2 年 目 以 降													

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合)

(単位：円)

種 類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割 合 (G)	自己資本 利 子 (f) × (G) × 利子率
作業場	木造	30 m ²	1,890,000	40	756,000	756,000	15	50,400	8	352,800	100	14,112
鳥取型低コストハウス（耐雪）	6×50m	5 棟	6,937,500	100	6,937,500	6,937,500	10	693,750	5	3,468,750	20	27,750
トラクタ	4WD 25ps	1 台	3,067,900	5	153,395	153,395	7	21,914	4	65,741	20	526
ロータリ	160cm	1 台	440,000	5	22,000	22,000	7	3,143	4	9,429	20	75
管理機	3.7ps	1 台	248,600	10	24,860	24,860	7	3,551	4	10,654	100	426
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	280,390	30	84,117	84,117	7	12,017	4	36,050	100	1,442
刈払機	肩掛式	1 台	71,880	7	5,032	5,032	7	719	4	2,156	100	86
焼却用バーナー	5.1万kcal	1 台	30,000	100	30,000	30,000	7	4,286	4	12,856	100	514
灌水ポンプ	3ps	1 台	67,200	100	67,200	67,200	7	9,600	4	28,800	100	1,152
低温貯蔵庫	290w	1 台	574,800	100	574,800	574,800	7	82,114	4	246,344	100	9,854
軽トラック	660cc	1 台	1,200,000	40	480,000	480,000	4	120,000	2	240,000	100	9,600
グリーンアスパラガス	1 年養成	2 10 a	403,526	100	403,526	403,526	10	40,353	5	201,761	100	8,071
合計			15,211,796		9,538,429	9,538,429		1,041,846		4,675,340		73,608

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
カリーナスパラス	ウェルカム	全期立茎栽培	2,000kg	排水良好、耕土深く、 砂壤土から壤土	15 a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10 a)
						機械利 用時間	組 員数	延労働 時 間	
(1 年目) 土 壤 改 良	3/上	堆肥	10,000kg	バックホー	○畦の中央(植付け位置)の下を幅 40cm、深さ40cmの溝を掘るように 深耕する。 溝に堆肥を入れ土を戻す。	4.0	2	8.0	軽油 18.0
定 植 準 備	4/上～4/下	堆肥 苦土石灰 BMようりん 野菜美人 黒マルチ(180cm) 防草シート(150cm) 灌水チューブ	10,000kg 200kg 60kg 60kg 5本 5本 1,000m	トクタ ロータリ 人力	○全層に堆肥、基肥を施用、耕耘し、 溝上にうねを立てる(高さ30～40cm 、うね幅180～200cm) ○雑草抑制のため、うねにはマルチ、 うね間には防草シート掛けを行う。 ○マルチ下に灌水チューブを設置する。	2.0	2	24.0	軽油 9.0
定 植	5/上	パラスポット苗	1,250本	人力	○株間40cmの1条植える。 (草丈20～25cm)		2	8.0	
倒 伏 防 止	5/中	支柱(180～200cm) フラーネット(20cm角3目) フラーネット(30cm角2目) ハウスバンド	334本 500m 500m 1,000m	人力	○支柱を3m間隔で立て、高さ30cm程度 の位置にネットを張る。 ネットは茎の伸長とともに徐々に高 くする。		2	6.0	
追 肥	6/上 7/上 8/上	野菜美人 野菜美人 野菜美人	40kg 40kg 40kg	人力			1 1 1	2.0 2.0 2.0	
か ん 水	5/上～11/中	灌水チューブ		灌水ポンプ	○定期的に行う。	23.5	1	23.5	カソリン 23.5
病害虫防除	5/下～11/中	ベント水中和剤 コサイト3000 アゼイオン乳剤 アフェットフロアブル ハチハチフロアブル ストロビーフロアブル タコニール1000 タソント水溶剤 アミスターフロアブル デリアナSC コテツフロアブル	100g 400g 100cc 100cc 200cc 100cc 400cc 200g 100cc 70g 100cc	動力噴霧機	○茎枯病を中心に、梅雨期や秋の降雨 の前後に防除を行う。	7.0	2	14.0	カソリン 7
茎葉刈り取り マルチ等除去 うね上の焼却 堆肥マルチ 灌水チューブ設置	11/下～12/下	堆肥 灌水チューブ	4,000kg	刈払機 焼却用バーナー	○茎葉が黄化したら刈り取り、ほ場外 に持ち出し、焼却する。 ○残茎を抜き取った後、うね表面の土 壤を火炎放射機で焼却する。 ○うね面焼却後、うね上に堆肥を置く。	1.0 16.0	2 1 2	8.0 16.0 8.0	混合油0.5 灯油 40.0
合 計								129.5	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
(2年目以降) 春 肥 散 布	1/上	セルカ2号 野菜美人	100kg 40kg	人力			2	4.0	
収穫・調整・ 出荷	3/上～10/上	通い箱		人力 軽トラック 低温貯蔵庫	○若茎が28cmになったら地際より収 穫する。 ○気温が低い時間に収穫する。 ○高温期は1日に2～3回収穫する。 ○曲がりやすいので、出荷までは5℃ 以下の冷蔵庫で立てて保存する。	40.0	2 1	311.0 40.0	ガソリン 100 電気 1,253 kwh
立 茎	4/中～5/上			人力	○立茎開始時期の目安は、萌芽茎が細 くなり、1日当たりの収穫量が1kg/ aを下回るようになった頃とする。 ○1株当たりL級で3～4本の茎を確 保する。立茎間隔を10cm以上とる。 ○成茎にふさわしい芽だけを立茎し、 他の萌芽茎は収穫する。 ○2年目の立茎開始は4/中とする。		2	8.0	
倒 伏 防 止	4/下	支柱(180cm) フラーネット(20cm角3目) フラーネット(30cm角2目) ハウスバンド	334本 500m 500m 1,000m	人力	○支柱を3m間隔で立て、高さ70cm、 110cm程度の位置にネットを張る。 ○さらに高さ150cm程度の位置にハウ スバンドを張る。		2	8.0	
追 肥	1/上 3/上 4/上 5/上 6/上 7/上 8/上 9/上	野菜美人 野菜美人 野菜美人 野菜美人 野菜美人 野菜美人 野菜美人 野菜美人	40kg 40kg 30kg 30kg 30kg 30kg 30kg 30kg	人力	○必ず追肥と灌水をセットで行う。		1 1 1 1 1 1 1 1	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	
か ん 水	1/上～12/下	灌水チューブ		灌水ポンプ	○pF1.8を目安に灌水を行う。	44.7	1	44.7	ガソリン 44.7
病害虫防除	5/上～10/中	ベシレート水和剤 コサト°3000 アテ°イオン乳剤 アフェットフロアブ°ル ハチハチフロアブ°ル ストロビーフロアブ°ル タ°コニール1000 タ°ントウ水溶剤 アミスターフロアブ°ル テ°イア°SC コテツフロアブ°ル	150g 600g 150cc 150cc 300cc 150cc 600cc 300g 150cc 100g 150cc	動力噴霧機	○茎枯病の防除を中心に行う。 ○収穫中はできるだけ農薬を使用し ないように耕種的防除を心がける。	10.0	2	20.0	ガソリン 14.0
茎葉の刈り取り うね上の焼却 堆肥マルチ 灌水チューブ設置	11/下～12/下	堆肥 灌水チューブ	4,000kg	刈払機 焼却用バーナー 管理機	○茎葉が黄化したら株元から刈取り、 ほ場外に持ち出して焼却処分する。 ○残茎を抜き取った後、うね表面の 土壌を火炎放射機で焼却する。 ○うね面焼却後、うね上に堆肥を置く。	1.0 24.0 4.0	2 1 2	8.0 24.0 8.0	混合油0.5 灯油 60.0 ガソリン 4.0
合 計								499.7	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説 明
粗収益	主産物価額③	2,280,000	生産量①： 2,000 kg 単価②： 1,140 円/kg
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	2,280,000	
生産費	生産原価	種 苗 費	0
		肥 料 費	70,429 使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	38,872 "
		諸 材 料 費	29,789 "
		動力光熱費	73,822
		農 具 費	38,438 機械負担価額×4%
		建物等修繕費	132,290 建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0
		共 済 掛 金	11,220
		雇 用 労 賃	0
		減価償却費⑤	694,564 別表のとおり
		土地改良費	2,019
		支払地代⑥	10,769
		小計 (B)	1,102,212
	販売費一般 管理費	出荷資材費	6,160
		販 売 諸 費	810,440
		諸税負担金	7,290 農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	11,295 農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	37,802 借入資本利率2%
		小計 (C)	872,987
	経 営 費 (D)		1,975,199 注) (D) = (B) + (C)
	家族労働費見積額 ⑧		684,190 農 従 労 働 時 間： 499.6 生産管理労働時間 26.7 1,300 円/時間
	支払利子・地代算入生産費(E)		2,659,389 主産物単位当たり 1,330 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④
	自己資本	流動資本利子⑨	38,540 注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04
	利子(F)	固定資本利子	49,072 利率4%
	自 作 地 地 代 (G)		3,231
	全算入生産費 (H)		2,750,233 生産物単位当たり 1,375 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)
所 得 (I)		304,801	時間当たり 579 円 注) (I) = (A) - (D)
所 得 率 (J)		13	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100
農企業利潤 (K)		-470,233	注) (K) =③- (H)
家族労働報酬 (L)		213,957	時間当たり 407 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)
農業資本利潤 (M)		-379,389	注) (M) = (I) -⑧

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
春肥散布	4.0																																	4.0			
収穫・調製・出荷							9.0	13.5	18.0	18.0	13.5	13.5	13.5	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	13.5	13.5	9.0								351.0			
立茎											3.0	3.0	2.0																					8.0			
倒伏防止												8.0																						8.0			
追肥							3.0			3.0			3.0			3.0			3.0			3.0			3.0			3.0						24.0			
かん水	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.7	1.7	1.7	1.7	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	1.7	1.7	1.0	1.0	1.0	0.7	0.7			44.7		
病虫害防除														2.0		2.0		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		2.0	2.0		2.0							20.0			
茎葉の刈り取り																															8.0			8.0			
うね上の焼却																																12.0	12.0		24.0		
堆肥マルチ																																	8.0	8.0			
計	4.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	12.7	14.2	19.0	22.0	17.5	25.5	19.5	21.0	19.0	24.7	19.7	21.7	24.7	23.3	23.3	26.3	21.3	23.3	26.3	15.2	17.2	13.0	1.0	1.0	0.7	0.7	8.0	12.0	12.0	8.0	499.7

生産管理労働時間

(26.7)